

【令和7年度 主題研究】

I 研究主題・副題

基礎的・基本的な学力の定着を図り、主体的に学ぶ児童生徒の育成 ～9年間を見通した指導と授業改善の実践を通して～

2 研究内容

(1) 基礎・基本的な学力の定着

- ① 学習訓練（返事、発表の仕方、聞き方等）
- ② コツコツコンテストの実施
- ③ AI ドリルの活用

(2) 主体的・対話的で深い学びの充実

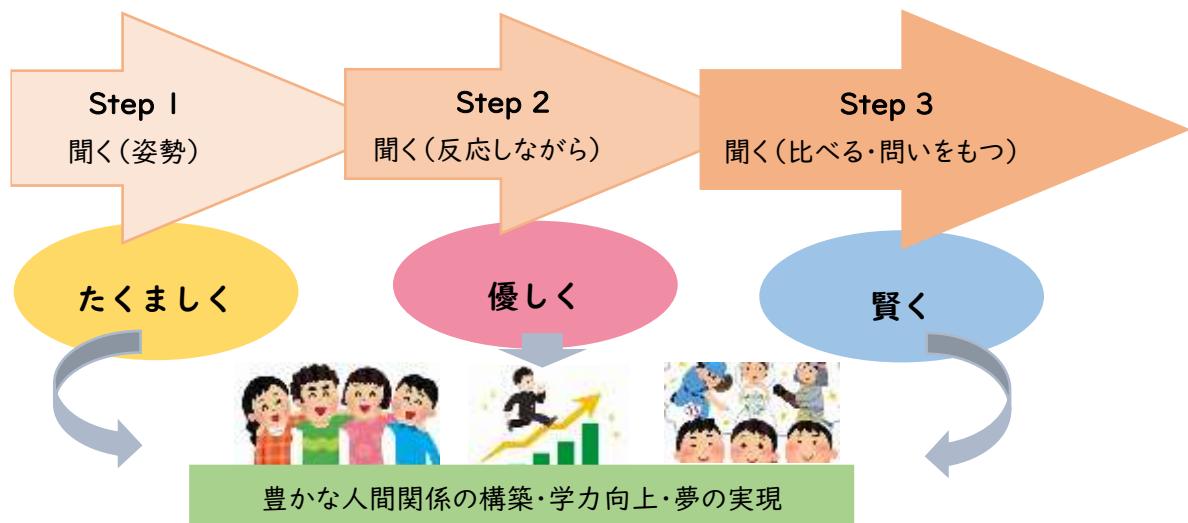
- ① 協働的な学び
- ② 学びに向かう集団づくり
- ③ 表現力の育成
- ④ 研究授業の実施

3 研究の実際

(1) 基礎・基本的な学力の定着

① 学習訓練

実践内容 聞く姿勢・態度の徹底を図る



図のように、段階的に「聞く」レベルを上げていく。また、学校経営方針と関連付けることで、教師にとっては「指導する目的」や児童生徒にとっては「聞く姿勢・態度を身につけることで得られるメリット」を具体的にイメージすることができる。

児童生徒が段階的に「聞く姿勢・態度」をレベルアップしていくよう設定したように、教師も「聞く姿勢・態度」の指導をレベルアップしていく。

発達段階等の違いもあるため、学年の実態に合わせて指導段階（Step）を設定する。また、意識付けや担任以外の職員との共有のため教室に指導段階（Step）を掲示する。

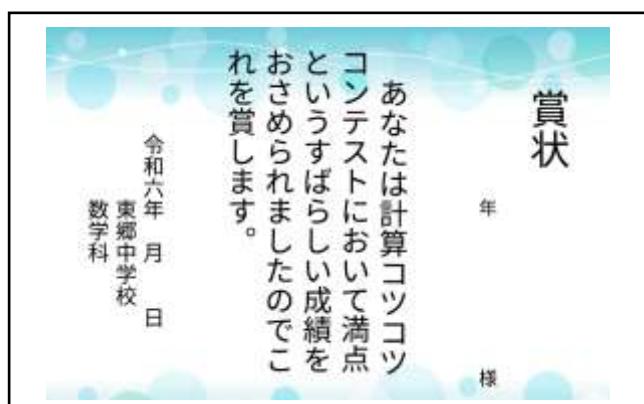
	Step1(姿勢を整える)	Step2(反応する)	Step3(比較し、問い合わせをもつ)
小学生	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話をする人の方に体を向ける ○ 背筋を伸ばす ○ 話をする人の目を見る 	<ul style="list-style-type: none"> ○ うなずき、かしげたりしながら聞く ○ 最後まで話を聞く ○ 話の最後に 「わかりました」 「同じです」 「もう一度言ってください」 などの反応をする 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話を聞いて 「似ています」 「少し違います」 「付け加えます」 「他にもあります」 などの反応をする
中学生	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話をする人の方を見る ○ 背筋を伸ばす ○ 話をする人の目を見る 	<ul style="list-style-type: none"> ○ うなずき、かしげたりしながら聞く ○ 話の最後にあいづちを打ったり、反応をしたりする 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話を聞きながら、自分の考えを広げ、深めるために、人の考え方や意見を記録する ○ 話の後に、聞いた(記録した)ことと自分の考え方を比べ、 「～だから、私も…と思ひます。」 「～だから、私は…と思ひます。」 「～さんの考え方を聞いて、…と考えました。」 などの反応をする。

※ あいづち例 あ～なるほど! いいね! うんうん!わかる え～?! そうなんだ おー! すごい

【発達段階ごとによる指導内容】

② コツコツコンテスト

基礎的基本的な学力を定着させることを目的に、コツコツコンテスト（小テスト）を行い、満点者には賞状を渡し、賞賛する。また、異学年で同じ問題に取り組むことで、競い合う気持ちをもたせる。



【コツコツコンテスト数学賞状】

【中学生コツコツコンテスト問題】